

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	県施行街路事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 幹線道路・港湾機能を充実する
事業実施期間	～ 令和7年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	地方財政法第27条第1項

【事業概要】

現状と課題	事業者である兵庫県が、確実に事業進捗を図っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	兵庫県実施の街路事業の進捗を図る。
対象 ※誰、何に対して	兵庫県
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	工事負担金を支出する。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	339,886 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	312,200 千円
	その他特財	千円
	一般財源	27,686 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	05 街路事業費
細目	005 街路事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	204,057 千円	200,339 千円	339,886 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	負担金の適正な執行により、円滑に事業推進が図られた。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	県施行街路事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
兵庫県	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
負担件数	件	1	1	1
活動指標分析結果	令和2年度は、事業者である兵庫県に対して工事負担金を執行した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
負担済件数	件	1	1	1	令和7年度	1
成果指標分析結果	確実に負担金の執行を行っている。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	神吉中津線道路改良事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 幹線道路・港湾機能を充実する
事業実施期間	平成19年度 ～ 令和6年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	都市計画法、道路法

【事業概要】

現状と課題	令和6年度末までに、当該道路事業を完了させ供用することを目標としているものの、3から4年の事業進捗の遅れが生じている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	中心市街地への交通の流入を容易にするとともに、加古川渡河部の慢性的な交通渋滞の解消を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川地区、加古川西地区の周辺住民及び道路利用者(車両、市民等)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	令和6年度末、全線供用を目指し、道路改良を行う。令和2年度は、物件調査、積算業務、用地取得、物件補償、道路改良工事を行った。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	661,660 千円	
財源内訳	国庫支出金	249,313 千円
	県支出金	千円
	地方債	291,700 千円
	その他特財	千円
	一般財源	120,647 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画法費
目	05 街路事業費
細目	005 街路事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	926,098 千円	896,077 千円	661,660 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により円滑に事業推進が図られており、事業認可期間内での完成に向け、特定財源等、確実な財源確保を維持する必要がある。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	神吉中津線道路改良事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業進捗率	%	23	33	37

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業進捗状況	%	23	33	37
活動指標分析結果	令和2年度は、物件調査2件、用地買収799.17m <sup>2</sup> 、物件補償16件、道路改良工事を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
事業進捗率	%	23	33	37	令和6年度	100
取得土地率	%	84	93	97	令和6年度	100
物件移転率	%	93	94	97	令和6年度	100
成果指標分析結果	令和6年度末までに、全線供用を目標として、特定財源の確保に苦慮しながらも、事業を推進している。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	中津水足線外1線道路改良事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 幹線道路・港湾機能を充実する
事業実施期間	平成13年度 ～ 令和5年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	都市計画法、道路法

【事業概要】

現状と課題	令和2年度で当該事業範囲の用地取得は概ね完了しており、令和5年度の完成に向け、道路改良工事を行う。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	中心市街地へ集中する交通量を効率的に分散させ、交通渋滞の緩和を図るとともに、歩行者、自転車の通行の安全を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川地区の周辺住民及び、道路利用者（車両、市民等）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	令和5年度末全線供用を目指し、道路改良を行う。令和2年度は、土地取得、物件補償、道路改良工事を行った。

【コスト】

		令和2年度（決算見込）
事業費合計		594,022 千円
財源内訳	国庫支出金	199,007 千円
	県支出金	千円
	地方債	318,500 千円
	その他特財	千円
	一般財源	76,515 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	05 街路事業費
細目	005 街路事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	418,217 千円	456,810 千円	594,022 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	予算の適正な執行により円滑に事業推進が図られており、事業認可期間内での完成に向け、特定財源等、確実な財源確保を維持する必要がある。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	中津水足線外1線道路改良事業	部局名	建設部
		課(室)名	道路建設課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業進捗率	%	75	78	91

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業進捗状況	%	75	78	91
活動指標分析結果	令和2年度は、用地買収283.24m <sup>2</sup> 、物件補償1件、道路改良工事を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
事業進捗率	%	75	78	91	令和5年度	100
取得土地率	%	99	99	99	令和5年度	100
物件移転率	%	98	99	100	令和5年度	100
成果指標分析結果	早期事業効果の発現を見据え、令和5年度末全線供用を目標として、特定財源の確保に苦慮しながらも、事業を推進している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	港湾振興及び保全対策事業	部局名	建設部
		課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 幹線道路・港湾機能を充実する
事業実施期間	昭和49年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	別府地区と尾上地区の港湾があり、現在、東播磨港湾計画(平成10年改定)に基づき浚渫や防波堤整備が進められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	港湾施設の快適な利用と、東播磨港の安全・振興を図る。
対象 ※誰、何に対して	港湾利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	港湾の清掃活動などを通じて各種港湾関係団体との連携を深める

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	493千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	493千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	04 港湾費
目	01 港湾管理費
細目	005 港湾振興及び保全対策事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	560千円	560千円	493千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	港湾整備の充実は東日本大震災以降特に関心が高まっているため、港湾整備への各種調整窓口として継続していくことが妥当である。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	港湾振興及び保全対策事業	部局名	建設部
		課(室)名	治水対策課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
別府港及び尾上港	地区	2	2	0

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
港湾清掃参加者	人	247	247	0
活動指標分析結果	港湾の安全や景観を維持するため町内会・漁業組合・市職員等が協力し、港湾の清掃を行っており、活動として妥当なものと考えられる。ただし、令和2年度は、コロナ禍により事業を中止した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
収集ごみの量	キログラム	1,500	15,000	0	令和2年度	1,500
成果指標分析結果	毎年同じ位の人数で行っており、一定の水準を維持しており、妥当なものと考えられる。ただし、令和2年度は、コロナ禍により事業を中止した。					